

## 平成30年度 第3回脊椎脊髄病学会、日本側弯症学会

### 社会保険等システム検討委員会 議事録

日 時：2018年9月26日(水) 18:30~

場 所：東京医科大学新教育研究棟 10F 1001室

**参加委員**：大川 淳(担当理事)、遠藤 健司(JSSR 委員長)、青田 洋一(側弯症委員長)、高野 裕一、武者 芳朗、鈴木 秀和(書記)、山縣 正庸、平泉 裕、新井 嘉容、井上 玄、谷口 優樹、酒井大輔、吉井 俊貴、宮城 正行

**欠席**：種市 洋、渡辺 航太、八木 満、藤田 順之、山田 浩司

#### 議事録

##### 1) 次回要望に向けて

##### JSSR 新規要望：

コンドリアーゼ(遠藤)：新規手術として、経皮的髄核摘出術に準じて申請予定。  
短期間ではあるが、実態調査を交えて提出したい。

人工椎間板(吉井)

Medtronic 社の Prestige LP (2017.12-) と Zimmer-Biomed 社の Mobi-C (2018.6-) の臨床がすでに開始。2019.6 までプロクター施設のみでの使用(それぞれ 18 施設)で、市販後調査を行い、それ以降に一般公開される予定。一般公開以後 1 年間は全例レジストリ登録される予定。現状では、K142 の固定術が代用されており、人工椎間板で試案はすでに載っており、新規要望予定。

PPS(高野)：除圧を伴わない椎間固定術について「脊椎固定術に対するインストゥルメンテーション手技」試案あり、要望予定

陰性モデル(神戸労災鷺見先生にお願い) 新規資料とともに、再要望予定

サルコペニア(武者、谷口(側弯症))：サルコペニアに関する DEXA 法、BIA 法における検査料(筋肉脂肪定量検査：D217 骨塩定量検査 DEXA360 点, エコー80 点) 新規検査として腰痛学会(内保連)とともに要望

・再手術(武者)：東医と東邦で実態調査してきびしそう 今回見送り

##### 側弯症学会新規要望：

高度変形に対する矯正固定術

EOS

##### 材料：

・放射線防御手袋(武者)：前回要望に文献などを加え、再要望。ミエロ、ブロックも含める。また、試案の価格に材料費を上乗せする。

- ・エアトームバーについては要望はしない

#### 改正：

- ・脊椎搔爬（渡辺）については、椎弓切除で十分であるため、要望せず

#### JOA 要望について(いずれも改正要望予定)

##### ・ JSSR 担当

内視鏡下椎弓形成術における複数椎間加算 担当（案）：高野

黄色靭帯骨化症における複数椎間加算 担当（案）； 吉井（OPLL と一緒に）

##### ・ 側弯症学会担当

脊椎手術における術中CT加算 担当（案）：新井、吉井

側弯症手術 術中ナビゲーション加算の適応拡大 担当(案)；八木、藤田

#### 2) JSSR ポスター発表について

2019年 JSSR（横浜）でポスターにして活動報告予定

#### 3) その他

- ・データベースについて:情報共有については今後まだ検討要

次回開催 JSSR 発表内容、申請データの確認 2月27日（水）PM7:00 から東京医科大学  
新教育研究棟 1001 室

#### 外保連委員

実務：JSSR 鈴木、吉井、側弯：宮城、井上

手術：JSSR 遠藤、高野、側弯：八木、藤田

処置：委員長平泉、鈴木、武者、側弯：酒井

麻酔：JSSR 吉井 側弯：酒井

検査：JSSR 武者、遠藤、側弯：谷口

広報：JSSR 高野

オブザーバー：山田